



第50回定期総会 懇親会 集合写真

出席者

総会：約50名
懇親会：約90名



第55号

[発行]

横浜商科大学
同窓会

TEL・FAX 045-583-9031

<http://www.shodai-ob.com/>

[制作・印刷]

(株)パドインターナショナル
TEL 03-6857-0810



山崎 同窓会会長

恒例の 大抽選会



同窓会
奨学生の
紹介

懇親会

2025年11月1日



第50回定期総会に先立って午後12時より支部長会議が開催されました。15支部より、支部報告及び、各々要望など意見交換が行われた。

出席者

支部長会議：20名



2024年度 収支計算書

自：2024年10月 1日
至：2025年 9月30日

収 入 の 部		単位：円		
科 目	予算額	決算額	差 異	
I 会費収入	13,600,000	12,365,000	－ 1,235,000	
1. 同 窓 会 費	13,600,000	12,365,000	－ 1,235,000	
II 事業収入	400,000	325,000	－ 75,000	
1. 総 会 会 費	400,000	325,000	－ 75,000	
III 資産運用収入	1,000	23,674	22,674	
1. 預貯金等利息	1,000	23,674	22,674	
IV 雑収入	720,000	920,000	200,000	
1. その他(寄付金)	0	0	0	
2. 育友会受託費	720,000	720,000	0	
3. 育友会より総会お祝い金		200,000	200,000	
当期収入合計 (A)	14,721,000	13,633,674	－ 1,087,326	
前期繰越収支差額	66,757,024	66,757,024	0	
収入合計 (B)	81,478,024	80,390,698	－ 1,087,326	

支 出 の 部		単位：円		
科 目	予算額	決算額	差 異	
I 事業費	3,000,000	3,180,896	180,896	
1. 機関紙印刷費	600,000	767,480	167,480	
2. 総会費	2,400,000	2,413,416	13,416	
II 準会員支援金	4,650,000	3,959,750	－ 690,250	
1. 卒業記念事業費	1,000,000	1,000,000	0	
2. 大 会 他	200,000	50,000	－ 150,000	
3. 新入生・卒業生記念品	1,150,000	1,149,750	－ 250	
4. 同窓会奨学金	1,200,000	1,200,000	0	
5. 援助金（大学祭）	500,000	500,000	0	
6. 育英奨学金（有資格者）	500,000	0	－ 500,000	
7. 在学生支援金	100,000	60,000	－ 40,000	
III 組織強化費	3,080,000	2,906,844	－ 173,156	
1. 支 部 支 援 金	1,600,000	1,574,998	－ 25,002	
2. 支部設立援助金	100,000	40,500	－ 59,500	
3. 通 信 費	1,200,000	1,117,110	－ 82,890	
4. H.P 制作維持費	180,000	174,236	－ 5,764	
IV 管理費	3,900,000	4,107,117	207,117	
1. 会 議 運 営 費	600,000	785,440	185,440	
2. 旅 費 交 通 費	700,000	681,218	－ 18,782	
3. 慶 弔 費	150,000	114,390	－ 35,610	
4. 消 耗 品 費	150,000	57,434	－ 92,566	
5. 人 件 費	2,100,000	2,389,521	289,521	
6. 雑 費	100,000	79,114	－ 20,886	
7. 予 備 費	100,000	0	－ 100,000	
当期支出合計 (C)	14,630,000	14,154,607	－ 475,393	
当期収支差額 (A)－(C)	91,000	－ 520,933	－ 611,933	
次期繰越収支差額 (B)－(C)	66,848,024	66,236,091	－ 611,933	

2024年度 事業報告

（自：2024年10月1日 至：2025年9月30日）

1. 定期総会
2023年度定期総会(第49回)開催……2024年11月16日
於：新横浜グレイスホテル
2. 同窓会報、ホームページ等による情報発信
ホームページの随時更新
同窓会会報第53号発行……2024年10月1日
3. 本部・支部及び各支部間の連携強化
(会員増強のための情報提供)
【役員会】
2024年10月 5日 第184回役員会開催
2025年 2月 1日 第185回役員会開催
5月24日 第186回役員会開催
8月20日 第187回役員会開催
【支部総会】
2024年10月13日 ハンドボール支部総会開催
大学出席
10月26日 長野支部総会開催
大学・本部役員出席
12月 7日 関西支部総会開催
本部役員出席
12月 7日 韓国支部総会開催
12月19日 不動産支部総会開催
本部役員出席

2025年 1月25日 四国支部総会開催
本部役員出席
6月13日 教員支部総会開催
7月 5日 群馬支部総会開催
本部役員出席
7月 5日 剣道部支部総会開催
本部役員出席
8月31日 新潟支部総会開催
本部役員出席
9月13日 韓国支部総会開催
9月26日 宮城支部総会開催
【支部長会議】
2024年 11月16日 第16回支部長会議開催
本部役員出席
4. 支部設立の推進
8月 2日 神奈川支部設立総会開催
本部役員出席
9月15日 東海支部第一回総会開催
大学・本部役員出席
5. 会員名簿の整理及び管理
個人情報の関係から名簿の発行予定はないが、メンテナンスとしてインターネット(ホームページ)Mail、Faxにて受付し、整理更新している。
6. 本部総会、各支部総会への会員出席者向上
重要検討事項として次年度も継続する。
7. 経費の節減
8. 事業実績
2024年
10月 1日 同窓会会報第53号発行
10月10日 第18回全日本学生剣道オープン大会出場支援
10月23日 第57回大学祭(飯山祭)へ支援
11月16日 2023年度定期総会(第49回)開催

2025年
1月14日 卒業事業委員会へ支援
3月15日 学位記授与式 山崎会長出席
4月 2日 特待生・同窓会奨学生 認定式 山崎会長出席
4月 3日 入学式 山崎会長出席
6月 3日 奨学金贈呈(同窓会奨学生)前期
9月 3日 奨学金贈呈(同窓会奨学生)後期
9月13日 秋季学位記授与式 山崎会長出席
女子学生対象に生理用品の随時補給

2025年度 収支予算書

自：2025年10月1日
至：2026年9月30日

収 入 の 部

単位：円

科 目	2025 年度 予算額	2024 年度 (前年度) 予算額
I 会 費 収 入	14,000,000	13,600,000
1.同窓会費	14,000,000	13,600,000
II 事 業 収 入	400,000	400,000
1.総 会 会 費	400,000	400,000
III 資 産 運 用 収 入	20,000	1,000
1. 預貯金等利息	20,000	1,000
IV 雑 収 入	720,000	720,000
1.寄付金	0	0
2.育友会受託費	720,000	720,000
当期収入合計 (A)	15,140,000	14,721,000
前期繰越収支差額	66,236,091	66,757,024
収入合計 (B)	81,376,091	81,478,024

支 出 の 部

単位：円

科 目	2025 年度 予算額	2024 年度 (前年度) 予算額
I 事 業 費	3,300,000	3,000,000
1. 機関紙印刷費	900,000	600,000
2. 総会費	2,400,000	2,400,000
II 準 会 員 支 援 金	4,500,000	4,650,000
1. 卒業記念事業費	1,000,000	1,000,000
2. 大 会 他	200,000	200,000
3. 新入生・卒業生記念品	1,150,000	1,150,000
4. 同窓会奨学金	1,200,000	1,200,000
5. 援助金（大学祭）	500,000	500,000
6. 育英奨学金（有資格者）	300,000	500,000
7. 在学生支援金	150,000	100,000
III 組 織 強 化 費	3,150,000	3,080,000
1. 支 部 支 援 金	1,650,000	1,600,000
2. 支部設立援助金	100,000	100,000
3. 通 信 費	1,200,000	1,200,000
4.H.P 制作維持費	200,000	180,000
IV 管 理 費	4,150,000	3,900,000
1. 会 議 運 営 費	700,000	600,000
2. 旅 費 交 通 費	700,000	700,000
3. 慶 弔 費	150,000	150,000
4. 消 耗 品 費	150,000	150,000
5. 人 件 費	2,300,000	2,100,000
6. 雑 費	100,000	100,000
7. 予 備 費	50,000	100,000
当期支出合計 (C)	15,100,000	14,630,000
当期収支差額 (A)－(C)	40,000	91,000
次期繰越収支差額 (B)－(C)	66,276,091	66,848,024

2024年度 貸借対照表

2025年9月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1.現 金	179,228	1. 正 味 財 産	68,736,091
2.普 通 預 金	24,691,647		
3.定 期 預 金	43,865,216		
資 産 合 計	68,736,091	負債・正味財産合計	68,736,091

2025年度 事業計画書

自：2025年10月 1日
至：2026年 9月30日

- 1.定期総会の開催
- 2.同窓会報、ホームページ等による情報発信
- 3.本部・支部及び各支部間の連携強化（会員増強のための情報提供）
- 4.支部設立の推進
- 5.会員名簿の整理及び管理
- 6.本部総会・各支部総会への会員出席者の向上
- 7.在学生への援助（奨学金・課外活動等）
- 8.経費の節減

【支部及び支部長一覧】

都道府県支部	広島支部	支部長	風 呂 実 雄(第10期)
	関西支部		林 永 年(第10期)
	福島支部		斎 藤 晋 一(第16期)
	新潟支部		田 村 昭 雄(第 3 期)
	群馬支部		鈴 木 清 照(第 8 期)
	宮城支部		小 松 智(第 8 期)
	四国支部		宇都宮 吉 彦(第11期)
	長野支部		西 原 日 文(第 4 期)
	韓国支部		尹 熙 満(第36期)
	神奈川支部		竹 田 嘉 夫(第11期)
	東海支部		山 崎 成(第 4 期)

運動・研究会 関連支部	剣道部支部	柴 崎 雅 治(第19期)
	ハンドボール部支部	滝 上 徹(第 5 期)
	経営情報システム 研究支部	滝 口 猛(第10期)
	飯山会支部	[検 討 中]

職域支部	観光産業支部	杉 原 一 光(第 2 期)
	教員支部	岡 本 裕 樹(第37期)
	会計人会支部	高 崎 洋 一(第28期)
	不動産支部	田 口 順 一(第26期)

横浜らしい商科大学に

―学長プロジェクトの推進―

同窓会の皆さま、今年4月から学長に就任しました原科幸彦(はらしなさちひこ)です。昨年春までは千葉商科大学の学長を務めておりましたが、今回、ご縁がありまして、羽田功前学長の後を継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。本学は1966年に創立され、今年で丁度60年節目の年です。横浜商科大学という名前は大変魅力的で、明治以来の国際商業都市、横浜にふさわしい大学だと思えます。私はその伝統を踏まえ、さらに発展させるべく、微力ながら努めてゆきたいと考えています。

私は社会工学という、理工学と社会科学の重なった分野の人間で、環境計画、政策が専門です。社会工学は実学という点で商学と共通します。社会システムを対象とするので総合性が求められますが、商学も社会におけるモノやサービスの流通を通じ人の世を豊かにするため、総合的なアプローチが求められます。そのような背景から千葉商科大学で学長として職務を全うし、2期8年の間に相応の成

果が得られました。

横浜商科大学の建学の精神、「安んじてことを托さるる人とuale」は、若いうちは上司から信頼される人になり、いずれは信頼されるリーダーになれということだと考えます。そして、本学は、商学は人の世の幸いのためにあると思っています。これは、言い方を変えると「真つ当な商い」を行えということです。私は、本学はこの真つ当性を追求するべきだと考えます。

そこで、前職での経験を本学においても生かしたいと吉原毅理事長と相談して、早速、全学で行う学長プロジェクトを企画しています。これは、本学の将来のため、社会から必要とされる大学であり続けるための取り組みです。教職員と学生が以下のテーマごとに学料を超えて取り組みます。テーマによって重みは変わりますが、教育、研究、社会貢献の3面での活動です。

本学を「真つ当な商い」を推進する大学」として特徴を打ち出す。そこで、サステナビリティがキーワードになりますが、中身のあなSDGs

の推進のため、私は以下、4つのテーマを考えました。

【1】自然エネルギー100%大学に(気候変動対策)

【2】ネイチャーポジティブ(生物多様性)

【3】環境社会配慮…三方よし、フェアトレード、インパクト・アセスメント

【4】おもてなし…観光、スポーツ、さらに、教職員の方々と議論を進めるなかで、明治以来の国際都市横浜の商科大学にふさわしいテーマとして、次が加わりました。

【5】世界への架け橋

現在、私は全ての教員に個別にお会いし、これらのテーマについて、お考えを伺っているところです。学長プロジェクトは自由参加の活動なので、皆さんが面白いと思わなければ参加してはもらえません。十分なコミュニケーションを取り、進めてゆきたいと思えます。卒業生の皆さんもご協力を願うことがあるかと思っています。その際は、どうぞよろしくお願いいたします。



第10代学長 原科幸彦

横浜商科大学同窓会会長

山崎好美

会員の皆様には、日頃より同窓会活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

昨年は同窓会設立50周年を無事に迎えることができました。これもひとえに皆様方のご協力の賜物です。次の50年に向かって着実に歩みを進めてまいります。

今年の定期総会は、皆さんが、通いなれた鶴見飯山の丘での開催となります。

私と同年代の会員の皆様にとつては大変な飯山の坂でしょうが、よろしくお願いいたします。

当日は、ホームカミングデーが開催されます。また、飯山祭が開催されていますので、是非会員の皆様には、足を運んでいただきたいと思っています。活動状況については、昨年の9月に秋季学位記授与式、3月14日には令和7年度学位記授与式に出席し育友会・同窓会よりの記念品を贈呈しました。

3月の卒業生は247名です(内訳は商学科142名、観光マネジメント学科35名、経営情報学科70名)。これにより、卒業生総数は、23,283名となりました。

支部活動としては、昨年12月に不動産支部・関西支部が、今年に入つて6月には教員支部、7月には長野

支部・東海支部がそれぞれ総会を開催しました。

各支部の動向については、同窓会ホームページに掲載していますので確認をしていただきお近くの支部総会に参加できます。その際には、本部の方にお声掛けください。

一方、母校に目を向けてみますと、羽田功学長が退任され、4月1日付で原科幸彦先生が学長に就任されました。

4月3日には本学体育館において入学式が挙行されました。

今年度の入学生389名内訳は商学科228名、観光マネジメント学科61名、経営情報学科100名。それに院生6名を加えた395名が商大の門をくぐりました。

4月8日には大学特待生・同窓会奨学生13名に対して表彰状が授与されました。

5月には、硬式野球部が神奈川リーグで15年ぶりに優勝しました。

神奈川リーグ代表として、6月に開催された全日本大学野球選手権において念願の初勝利を挙げました。野球部のこの快挙は60周年記念事業に華を添えてくれました。

この夏は例年のごとく大変暑い日が続いていますが、それ以上に熊本地震や千葉豪雨など天変地異が発生しています。

被害に遭われた地域の皆様方には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう心より願っています。



育友会・同窓会より記念品として名刺入れを贈呈しました。

令和8年3月14日(土)13時より、横浜商科大学鶴見キャンパスにおいて卒業生247名が社会へ大きく翔たいていきました。そして、“人の世の幸いに尽くす人となれ”と吉原毅理事長より、力強いエールが贈られました。

令和7年度 学位記授与式

2026年3月14日(土)13時より
横浜商科大学 鶴見キャンパスにて

学位記 授与

商学科	142名
観光マネジメント学科	35名
経営情報学科	70名

思い出深き
母校の地で
晴れやかに
行われました



共に学んだ仲間や恩師と語り合う笑顔溢れるパーティーとなりました。



卒業パーティー

新会員紹介

後輩たちへ想つこと

2026年3月度 卒業

経営情報学科

小島 佳那子

初めまして。2026年3月に経営情報学科を卒業した小島佳那子と申します。難しい言葉が苦手なので拙い文章にはなりますが、私が社会人になった今思っていることをお伝えできたらと考えております。よろしくお願いいたします。

最初に、就職活動で悩んでいる3年次や4年次の人たちにお伝えしたいことは、「4年次の3月でも内定はもらえるので就職活動で思い詰めないでほしい」ということです。私は就職活動に活発で、3年次で「短期インターンシップ」という夏休みに行く講義を受講しました。当時の私は税理士事務所や会計事務所などの税に関わる仕事に就職したいという気持ちが強く、講義のインターンシップ先も会計事務所を選びました。インターンシップ先の会計事務所は最終選考

までいきましたが落選となり、その後も税理士事務所や会計事務所の選考を受けましたが、全て1次選考で落選してしまいました。当時は分からなかったですが、社会人になった今は「税の仕事は好きでやってみたけど向いていないな」と思いました。4年次の5月の時点で内定が一つもないことや選考が全て落選してしまったことで、将来への不安から泣いていたこともよくありました。辛くなってしまった時期は就職活動を休止し、4年次の6月からもう一度就職活動を始めました。4年次の7月に内定をもらって内定を承諾したのですが、翌年の2月に内定を辞退しました。仕事内容や配属先について聞いていた話と違ったり、1週間以上連絡を返してくれなかったため、疑心を抱いてしまいこの企業で働く意欲がなくなったからです。内定を辞退してからは「アルバイトで働こうかな」と思ったのですが、私の心の中では「大学を出たのだから新卒カードを使って社会人として働きたい」という気持ちが強くなっていき、2026年3月1日から就職活動を再開しました。3月3日に内定をいただいた企業に就職し、配属先も希望どおりの場所になってくれました。私の就職活動は紆余曲折ありましたが、

就職して現在も働いております。今、就職活動で悩んでいる人は「人生どうにかなるので、あまり就職活動で悩み続けずに気軽に頑張ってほしい」と思います。

次に、社会人になって思ったことは「WordやExcelなどは使えなくてもいいけど、タイピングは絶対に早く打てるように練習したほうが良い」ということです。WordやExcelも使えたほうがいいですが、仕事によっては使わないので私は「基礎は勉強しておいたほうがいいけど、もし使う場面があったらその時にもう一度勉強すればいい」と思います。ですが、タイピングはパソコンを使う仕事ならどの仕事にも影響してきます。就職活動をしていた時や社会人になって「パソコンを使う仕事が多い」と感じたので、タイピングだけは学生のうちに頑張ったほうがいいと考えています。タイピング早くなるためにオススメなのは、レポートが課題の講義を取ることです。レポートをパソコンで一文字一文字を入力することで自然とタイピングの速度が上がっていきます。私自身も1年次のレポートで2000文字打ってから自然とタイピングが早くなりました。どの講義を受講しようか悩んでいる人やタイピングをもっと早くしたいと思っている人はレポートの講義を受講してタ

イピングの練習をすることをオススメします。

最後に、私が受講して良かったと思う講義は、「ユニバーサルデザイン」です。この授業では、椅子の人や目が不自由な人などのさまざまな人たちが利用しやすいような製品や設計をしていく考え方のことです。目が不自由な方が使っている杖の名前が「はくじょう」ということを初めて知りましたし、今まで白杖を使っている人を見たことがなかったです。講義で白杖の人を学び、家に帰るために駅ホームを歩いているときに、初めて白杖の人を見ました。そのときに私は「白杖の人がいないのではなく、白杖の人を見ようとしてもいなかった」ということに気づきました。この講義は、新しい価値観を身につけることができる内容となっています。一般常識としての知識も学べるため、講義を組み合わせて受講してもらえると嬉しいですよ。

私がお伝えしたいことを纏めますと「大学で卒業する人は最後の学生生活になると思います。4年間はあつという間なので、後悔のないように楽しんで卒業してください。」ということです。最後までお読みいただきありがとうございます。この文章が少しでもお役に立てれば幸いです。

2026年3月度 卒業

商学科

岸野 瑛

大学生の頃、「この授業は将来、本当に役に立つのだろうか」と思ったことが何度もありました。横浜商科大学では、簿記や会計、経営学、マーケティングなど、企業経営に関するさまざまな分野を学びます。しかし当時の私は、それぞれの知識を学ぶことに精一杯で、それが社会でどのように生かされるのかを具体的に想像することはできませんでした。

現在、私は小売業で働いています。接客だけでなく、売場づくりを考える機会もあり、日々、お客様にどのような商品を扱ったら手に取っていただけるかを考えながら仕事をしています。その中で感じたのは、お店を運営していく上で大切なのは、単に売上を伸ばすことだけではないということです。利益を確保しながら継続してお客様に選ばれるお店であるためには、「このお店だから来たい」と思ってもらえる価値を提供し続けることが重要だということです。

売場づくりを考える中で、私は「周りのお店と同じ商品を並べるだけでは、お客様がお店を選ぶ理由にはなりにくいのではないかと考

えるようになりました。定番の商品を取り扱うことも重要ですが、それだけでは他店との差別化は難しくなります。

私が働いている店舗では「このお店だからこそ見つけられる商品」や「お客様の期待に応えられる商品」を意識して商品を並べています。そうした積み重ねがお客様に選ばれる理由となり、結果として利益にもつながってきています。

この考え方は、大学で学んだマーケティングや経営戦略の授業で触れた「差別化」や「顧客視点」の重要性と重なる部分があり、学生時代には実感できなかった学びが、仕事の中で少しずつ結び付いていることを感じています。

また、簿記や会計の授業も、社会人になってから見方が大きく変わりました。学生時代は仕訳や計算方法を覚えることに意識が向いていましたが、仕事を通じて数字は企業の経営状況を表すものであり、一つひとつの判断が利益にどのような影響を与えるのかを考える機会が増えました。当時は試験のための知識だと思っていたことが、仕事の背景を理解するための土台になっていることを実感しています。

このような経験を通して思い出すのが、ステイブ・ジョブズ氏がスタンフォード大学の卒業式で語った「Connecting the Dots」とい

う考え方です。ジョブズ氏は、大学時代に興味本位で受講したカリグラフィの授業が、後にMacintoshの美しいフォントを生み出すきっかけになったと語っています。そして、「未来を見て点をつなぐことはできない。過去を振り返ったときに初めて点はつながる」という言葉を残しました。

私自身も、大学時代の学びは当時、それぞれが独立した「点」にしか見えていませんでした。しかし社会人となり、利益や経営、お客様の視点を意識しながら仕事をすることで、それぞれの学びが少しずつつながり、自分の判断や考え方を支えるものになっていることに気がきました。

在学生の皆さんも、「この授業は何のために学ぶのだろう」と感じることもあるかもしれません。しかし、その答えは卒業した直後ではなく、社会に出て経験を重ねる中で見えてくることがあります。今学んでいることは、すぐに役立つ知識ばかりではないかもしれませんが、一つひとつの学びは将来の自分を支える大切な「点」となります。私自身がそうであるように、皆さんもいつか仕事や人生の中で、その点が一本の線としてつながる瞬間をきつと経験するはずです。その経験は、将来必ず自分自身の力になると信じて、大学での学びを大切に、多くのことに興味を持

って挑戦し続けてください。

2026年3月度 卒業

観光マネジメント学科
前橋 保宣

【1】大学時代の思い出

大学時代は時間をかなり自由に使えるので、旅行や趣味の開拓など、くだらないことも含めてさまざまなことに挑戦できました。一方で、単位を気にしながら、「気になる」という理由だけで履修した授業に苦しみこともありました。

私は観光マネジメント学科だったので、観光地についての講義や、観光業界について学べる授業を中心に履修し、満足した大学生活を送ることができました。

その中でも特に印象に残っているのは、観光地の名物を学ぶだけでなく、「観光における食とはどういうものなのか」ということを学んだ授業です。また、普段は知らない観光地の食について知ることもできました。私は食べるのが好きなので、授業をきつかけに「旅行でどこに行こうか」と考えることも増え、趣味にもかなり影響を受けました。

他には、期末課題で観光ルートやツアーを作る授業もありました。まず観光地に何があるのかを調べ、その後に実際に現地へ行行って、本当に実行できるルートなのかを確

かめるというものでした。実際に行ってみて確認する作業は、思っていた以上に楽しかったです。観光ルートを作る際には、「何を考えるべきか」「時間配分をどうするか」「何を観光客に見せるべきか」といったことを考えます。その経験を通して、自分が旅行するときにも、どのようにプランを作ればよいのかを考えられるようになりました。

ゼミで特に印象に残っているのは、ゼミ旅行で石川県の金沢に行ったことです。

オーバーツーリズムとは、観光地に人が集まりすぎることです。さまざまな問題が起こる現象です。私たちは、そのオーバーツーリズムについて学ぶことを目的として金沢を訪れました。しかし、実際に行ってみると思っていたほど人が多くなく、「オーバーツーリズムが起きなくなっているのか」と考えるきっかけにもなりました。授業で学んだことを実際の観光地で確認することで、別の視点から学ぶことができたと思います。

また、金沢では回転寿司を食べたり、海鮮おでんなど普段はなかなか食べられないものを食べたりすることもでき、とても満足した旅行になりました。

【2】就活について

大学生活の後半で一番大変だったのは、就職活動でした。3年生の夏休みにはインターシップに参加し、2、3月頃からはマイナビの説明会などにも参加するようになり、徐々に忙しくなっていました。

年々、就活の早期化によって企業と学生の動きが速くなっており、周りから「就活が終わった」という話を聞く時期も早くなっていました。そのため、就活に手こずっていた私はかなり焦っていました。しかし、キャリアセンターを頼ることで、6月や7月でも選考を行っている企業を探してもらったり、面接練習をしてもらったりするなど、かなりお世話になりました。そのおかげで、なんとか就活を終えることができました。

就活で焦っていると、就活エージェントなどを使いたくなると思いますが、キャリアセンターに頼ると自分に合った企業を見つけられる可能性があると思います。困ったときは、一人で抱え込まずにキャリアセンターを頼ることをおすすめします。

【3】後輩へ

大学生活は、自分の時間を一番自由に使える時期だと思います。ぜひ、その時間を存分に楽しんでください。やりたいことに挑戦したり、新しい趣味を始めたたりするには、大学生活は良い時間です。

就活は年々早くなっているが大変ですが、困ったときはキャリアセンターを頼れば、案外なんとかなります。

2026年3月度卒業

商学科

蘇 長琳

「人生で出会う出来事は、すべて何かを教えてくれる」―井深大(ソニールグループの創業者)

大学を卒業してから、早くも数か月が経ちました。社会人として大学時代を振り返ると、四年間の経験や、そこでの出会いが、今の私の考え方や人との向き合い方を形づくっていることに気づかされます。

私は台湾から日本へ渡り、大学に入りました。異なる文化の中で暮らし、日本語で学び、さまざまな人と関わりながら自分の考えを伝えることは、最初から当たり前にできたわけではなく、言葉や文化の違いに戸惑いました。しかし、その「違い」から、相手の立場に立って考え、他人の声に耳を傾け、自分から一歩踏み出す大切さを学びました。

大学生活での最大の財産は、知識だけではなく「人との関わり」でした。学友会卒業事業委員会では、2年次に委員長として卒業パーティーの企画・運営に携わりました。4年ぶりの開催で約300人が参加する行事をつくるためには、当日だけでなく多くの準備と調整が必要でし

た。意見がまとまらないこともありましたが、それでも、一人ひとりの声に耳を傾け、得意なことや思いを持ち寄りながら、一つのものをつくっていきました。そこで学んだのは、リーダーとは自らすべてを動かす人ではなく、人の力を信じ、互いの違いを認め、人と人をつなぐことも役割なのだという事です。人と力を合わせれば一人では届かなかった場所にもたどり着けると知った経験は、今でも学びです。

また、ゼミ活動や神奈川県産学チャレンジ・プログラムでは、企業や社会と直接関わる機会にも恵まれました。実際の課題には、決められた正解があるとは限りません。自分で考え、相手の意見を聞き、試し、時には立ち止まりながら答えを探していく中で、学ぶとは知識を社会でどう生かすかを考えることだと感じました。

卒業論文では、Z世代の消費意識とD2マーケティングについて研究いたしました。思うように調査が進まず、インタビューや分析結果を前に悩むこともありましたが、それでも自分で問いを立て、検証し、形に仕上げる経験は、今も支えとなっています。

現在は、お客様と直接向き合う仕事に携わっております。相手が何を求めているのかを考え、言葉になっていない思いにも耳を傾け、自分の考えを分かりやすくお伝えすること。

こうした力は、大学で人と関わり、悩み、挑戦し、失敗した経験によって培われたものです。

異国の地で学ぶ中で私は、「違うことは、隔たりではなく、視野を広げるきっかけになる」ということを知りました。異なる考え方や価値観に触れるたびに、自分の「当たり前」が少しずつほどけていきました。相手を理解しようとすることは、自分の世界を狭めるのではなく、むしろ新しい景色を見ることなのだと感じるようになりました。

これからの横浜商科大学にも、学生一人ひとりが自分の可能性に出会える場所であり続けてほしいと願っております。留学生を含め、さまざまな背景を持つ学生が互いの文化や価値観に触れ、卒業生や企業、地域社会とつながりながら学ぶ機会が、さらに広がれば素敵だと思います。そうした出会いが、学生の視野を広げ、商大らしい学びを次の世代へつなぐのではないかと思います。

後輩の皆さんには、「何を学ぶか」だけでなく、「誰と出会い、何に挑戦するか」も大切にしてください。戦うか「も大切にしていたください。学生の頃には四年間は長く感じるかもしれません。しかし、卒業して社会に出ると、あつという間だったと感じます。心が動くことがあれば、ぜひ一歩踏み出してください。思い通りにならなかった経験も、遠回りも、年月が経てば自分を支えてくれることがあります。私自身も、

社会人として歩み始めたばかりです。これから先、自分の未熟さを思い知らされることもあると思いますが、それでも、大学で得た学びと縁を大切に、誰かの力になれる人へ成長していきたいと思っています。

最後に、四年間を支えてくださった先生方、職員の皆様、友人、先輩・後輩の皆様に、心より感謝申し上げます。こうして社会人として新たな一歩を踏み出せたのは、決して自分一人の力ではありません。先生からいただいた言葉、友人と過ごした時間、失敗や助けてもらった記憶が、今の私の支えとなっています。

大学で得た学びを自分の生き方を通して次の誰かへ渡していくことが、卒業生となった私にできる恩返しなのかもしれません。これから先、どのような道を歩みましても、横浜商科大学で過ごした四年間と、そこでいただいたご縁を忘れず、自分らしく歩んでまいりたいと思います。そしていつの日か、誰かの新しい一歩の後押しができる人になれたらと思っています。

2026年3月度卒業

商学科

辰川 凌哉

横浜商科大学での四年間を振り返ると、数えきれないほどの貴重な学びと挑戦の連続でした。

大学時代の思い出として、特に心に残っていることが三つあります。

一つ目は、学友会での活動です。1年次から財務部に所属し、優しく温かい先輩方に囲まれながら大学生活の基礎を築きました。2・3年時には学友会の副委員長(財務担当)を務め、組織を運営する難しさとやりがいを感じました。オープンキャンパスの運営にも携わるなど、忙しくも大変充実した日々でした。

二つ目は、資格取得・教職課程・課外活動の両立です。副委員長としての務めを果たしながら、教職課程の履修と税理士講座(財務諸表論)の受講という「三足のわらじ」を履く生活を送りました。特に3年次は多忙を極めたましたが、これまでの努力が実を結び無事に「財務諸表論」に合格することができました。さらに、小生以来となる日本武道館での剣道の試合にも出場でき、人生で最も濃密で達成感に満ちた一年となりました。

三つ目は、「簿記会計支援室」での講師経験と、税理士法人での実務アルバイトです。先輩に教えることを通じて自分自身の理解も深まりましたし、現在勤務している税理士法人でのアルバイトを通じて、学生のうちから社会の空気感や実務に触れたことは非常に大きな財産となりました。学生時代に実際の職場を経験することは、将来の大きな糧になると強く実感しています。

4年次には、母校が普通科であった影響もあり教育実習先の確保が難しく、教職課程を途中で断念せざるを得ませんでした。さらに税理士試験の「簿記論」にも不合格となるなど、大きな壁に直面し強い悔しさを味わいました。しかし、この時の経験が今の社会人生活において大きな影響を及ぼしていると思います。

現在は新宿の税理士法人で社会人1年生として働く中で、大学時代のすべての経験が今の仕事に活かしていると確信しています。学生時代は自分のために知識を吸収していましたが、社会人になった今は強い責任感を持ち、日々の業務に真摯に向き合うことが求められます。ありがたいことに優しい上司や先輩に恵まれ、前向きで充実した日々を過ごせています。支援室で後輩に教えて経験や学友会での組織運営、実務アルバイトの経験が、現在の仕事に対する姿勢の根幹となっています。挫折も含め、あの時の遠回りのすべてが今に繋がっていると感じる毎日です。現在は、8月の税理士試験に向けて、朝は職場のカフェテリアで勉強してから業務に取り組んでいます。

母校には今後とも、学生が専門スキルを磨ける「簿記会計支援室」のような実践的サポート体制の継続・発展や、教職を目指す学生への実習先確保のフォロー、就労体験の拡充などを通じて、より多くの学生の可能性を広げていただければ幸いです。



商大60周年記念事業として講演会が理事長、新学長のもと開催されました。
(横浜商工会議所「横浜シンポジア」にて)

第1回 2026年1月31日(土) 15～17時
メインテーマ「商学は人の世の幸いの為にある」

第2回 2026年6月6日(土) 15～17時
メインテーマ「自然エネルギー100%への挑戦」

そして在校生の皆さんへ。今はまだ実感が湧かないかもしれませんが、大学の四年間は本当にあつという間に過ぎ去ってしまっています。だからこそ、どんな状況であっても前向きに取り組み、大学の環境や制度を「最大限活かす」くらいのハングリー精神で挑戦してください。就活も資格取得も課外活動も、どれか一つに絞る必要はありません。遊びであっても勉強であっても、真剣に取り組んだ経験の中に無駄なものはないと意外と楽しいかもしれません。——これこそが、私が試行錯誤の4年間で得た一番の学びです。どうか今という時間を全力で楽しみ、挑戦を続けてください。皆さんが素晴らしいキャンパスライフを送れるよう、心より応援しています。

支部総会報告

次の9支部で支部総会が開催されました。

★ハンドボール部支部

令和7年11月23日(日)

11時30分より



場所：御影蔵(東京丸の内ビル)

★関西支部

令和7年12月6日(土) 13時より

場所：大阪リーガロイヤルホテル



★不動産支部

令和7年12月19日(木) 18時より

場所：横浜大飯店

★教員支部

令和8年6月12日(金) 17時より

場所：横浜商科大学
鶴見キャンパス

★東海支部

令和8年6月21日(日) 13時より

場所：クラウンパレス浜松



★韓国支部

令和8年7月4日(土) 17時より

場所：韓国同窓会事務所



★長野支部

令和8年7月18日(土) 13時より

場所：ホテルJALシティ長野

★四国支部

令和8年7月25日(土) 18時より

場所：三泰商事ビル会議室



第51回

汗をかきながら
飯山の坂を登って集まろう。

定期総会・懇親会のご案内

同窓会員の皆さまには、同窓会活動にご理解・ご協力を
賜り、心よりお礼申し上げます。

さて第51回定期総会・懇親会を下記の通り開催いたします。

日 時：2026年10月31日(土)

定期総会 13:30～14:30 131教室

懇親会 15:00～17:00 531教室

場 所：横浜商科大学つるみキャンパス

横浜市鶴見区東寺尾4丁目11-1 [TEL] 045-571-3901

- 議 題：①2025年度 事業報告・決算報告・監査報告
②2026年度 事業計画(案)・予算(案)
③規約改正の件
④会長・会計監査・改選の件
⑤その他



申し込みは
こちら

第8回ホームカミングデー同時開催

※ 講演会 11時～12時
722教室

講師 佐藤 拓男氏 平成6年度卒業
(株)すかいらーくホールディングス代表取締役社長

<支部長会議 12:00～13:00 314教室にて開催>

編集後記

同窓会50周年を終えて、そして本年
大学は60周年を迎えました。激動の社
会で少しずつ時をかけて着実に成長し
ている我が商大は、大学と同窓会の多
くの皆さまの努力の賜物です。
感謝を胸につなげましょう未来へ。
継続は力なり！
自然の大災害に幾度となく合われた皆
さまに心よりお見舞い申し上げます。
同窓会活動を通じて何かお役に立てる
ことはないでしょうか。
皆が幸せになることを願っています。
※会報55号発行にご協力ありがとうございました。
この会報はHPに10年間掲載されますのでご了承
願います。

— 紀 —

■同窓会事務局

月・火・木・金 午前10時00分～午後4時30分
〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1
TEL/FAX 045-583-9031(直通)
E-mail dousou@shodai.ac.jp
URL <http://www.shodai-ob.com/>